

第40号

輪中の郷

おたっしや通信

題字の揮毫

弥富町長

川瀬輝夫氏に

よるものです。

社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
弥富町デイサービスセンター
弥富いこいの里南デイサービスセンター

〒498-0000

愛知県海部郡弥富町大字大藤5番地の3

TEL (0567) 65-5531

FAX (0567) 65-5538

E-mail wajyu@rudu.ocn.ne.jp

URL http://www.yabuku.or.jp/

新春を迎えて



弥富町長

川瀬輝夫



明けましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、希望に
満ちた輝かしい初春を迎えられた
ことと、心からお慶び申し上げま
す。

また、平素は町政各般にわたり
深いご理解とご協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

ところで、昨年は10個もの台風
の上陸や新潟県中越地震により、
日本各地で大きな被害と尊い命が
失われました。

被害にあわれた皆様には、心よ
りお見舞い申し上げます。

社会福祉法人弥富福祉会におか
れましては、特別養護老人ホーム・

デイサービスセンターを開設以来、
本町の高齢者福祉向上にもご貢献
され、敬意と感謝を申し上げます。
第であります。

さて、介護保険制度が施行され
て5年が経過しようとしておりま
すが、今年が制度見直しの年であ
り、まさに改革元年になると思わ
れます。

本町といたしましても、町民の
皆様が健康で安心した生活が送れ
るよう、福祉サービスの充実と向
上に取り組み、「福祉のまち弥富」

の実現に全力を傾注していく所存
であります。

今後も、町民一人ひとりの幸せ
向上を目指して参りますので、皆
様の変わらぬご理解とご支援を賜
りたいと存じます。

終わりに、貴会の益々のご発展
と関係各位のご健康とご多幸を祈
念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて



理事長 下村尚一

明けましておめでとつございます。

平成17年の新春を迎え、皆様の
ご健勝とご繁栄をお祝い申し上げます。

輪中の郷も創立以来十二支一巡
し、県下にその存在を認められる
までに成長致しました。誠に慶賀
に値することでありますが、只、
介護保険施行以来わが国の福祉行
政は、緊迫の程度を年々増加させ
破綻の危惧も心配される状態にな
っております。

このため政府は介護保険の大改
正を意図しており、国民の負担増
が企画されています。

しかし、一方的に国民のみ負担
を増大させる訳もなく、我々福祉
施設に対してもその責の負担を強
いられることは、想像に難しくあ
りません。このような事態に直面
してから右住左住するのは芸のな
いことで、今現在からそれなりの
対応をしておかねばならないと思

います。

輪中の郷は創立満10周年を迎え
た際に新しい介護方式を考えまし
た。まず建物・施設などを1年余
りで整備し、直ちに新方式ユニツ
トケア体制を試行し始めました。
その効果は始めてから1〜2か月
にして顕著に明示されました。

しかしここに大きな落とし穴が
ありました。

ユニットケア体制を敷いたのに、
輪中の郷は一人一部屋の個室が少
ないということにユニットケアの
保険点数が頂けなくなってしまう
ました。

創立以来10余年営々辛苦して蓄
えられていた剰余金は建物・施設
の工事費でほとんど消費尽くされ、
更にユニットケアのために職員
の増員をしたために、人件費に影響
が出てしまいました。月々の給料
は支給出来ましたが、夏冬の賞与
は従来の予定額を支給出来なくな

ってしまったのです。

保険でユニットケアが認められ
なかったことで、この方式を止めて
介護職員の人数を減らせれば元に戻
るかもしれないが、介護に携わ
る人間がユニットケアの長所を眼
にした上で、これを止めることは
道義的にも人道的にも更に職業意
識とプライドからも不可能なこと
です。

このことは直ちに職員の皆さん
に報告し、対策を相談いたしました。
その答えは立派でした。それ
は、介護の質を落とすことは倫理
にも反することであり、他の部門
で収入増を図ることにしました。

まず、ショートステイの空室を
ないようにすること。次にデイサ
ービスを毎日定員一杯、利用して
いただくよう努力しました。更に
ショートステイの定員を増やしま
した。その上で利用者地域を拡大
し、海部北部の方や県内だけでな
く三重県の方にも利用していただ
くようにしました。

その甲斐があり昨年の賞与は以
前の支給基準に戻りました。職員
全員が危機感を持って努力したた
めと思いい安心致しました。

しかし、冒頭にも申し上げまし
たように今後の福祉財政は危機に

面しており、来る法改正でどのよ
うになるか今から対策を講じてお
かねばなりません。

本年もこの臨戦体制の下、緊張
した態度で進まねばならないと思
います。

個人負担が増加すれば利用者が
減少することは自明の事です。既
にデイサービス面ではリタイヤす
る施設も始めています。

この面で集客能力の向上を企画
しなければなりません。現在一人
一部屋の建物は厚労省も力をいれ
ており、補助金の割り当てが来る
のを待てばよく、ハード面でなく
ソフト面で改善改良していかなば
ならないと思います。

そのためには介護職員の接遇訓
練・医学常識の向上・介護技術の
改善を企画し、本人は勿論組織全
体で努力しなければならぬと思
います。

この面につきましては、町内有
識者の皆様にご援助をご依頼する
ことがあるかと存じますが、よろ
しくご支援頂きたくお願い致しま
す。

町民の皆様には、これからも以
前にも増して弥富福祉会に対する
ご支援の程を強くお願いして、年
頭のご挨拶といたします。

入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた4人の方々を紹介します。



久野あやのさんは、大正5年2月12日生の88歳です。10月31日しらか

ばほーむの家族になられました。すぐにほーむに馴染まれ、得意のあんまマッサージで住人さんももとより職員までも皆抜きにされました。(本当にお上手です。)なかにはマッサージの途中で気持ち良さのあまり眠ってしまう方もちらほら...

また、とても面倒見がよく周りの方々にも絶えずやさしい言葉をかけて下さり、職員一同頭の下がる思いです。

近いうちに職員も、あやのさんの技術を習得し、恩返しをしたいと思えます。

これからもお元気で、末永くよろしくお願ひします。



濱田さだ子さんは、大正6年12月15日生の87歳です。調子がよい時は、居室からホールま

で手すりを使ったりしながら、上手に車いすを自走されます。

また、歌が好きなので他の住人さんや職員が歌っていると、一緒に口ずさんだり、昔話などいろいろな話をしてくださいます。

3度の食事やおやつは残さずに食欲旺盛でいつもパワフルですが、時に悲しい表情をされることもありま

す。これからもたくさんさんの歌と一緒に歌いましょう。そしていろいろな話を私たちに聞かせてくださいね。



平野清子さんは、大正12年7月17日生の81歳です。この度、いちょ

うほーむの家族になられました。以前からシヨートステイを利用していたこともあって、馴染みの深い方です。「おはようございます。」と、声をかけると、「おはよう。」と笑顔で返して下さい

ます。

好き嫌いもなく何でも食べられ、

特に甘いものが好きでクリスマスケーキ、正月のぜんざいはペロリと食べられました。お菓子作りには、欠かせない存在になりそうです。これからも、たくさんのお菓子を一緒に作りましょうね。



伊藤キトさんは、大正10年3月24日生の83歳です。11月27日からしらかばほーむの家族になられました。

あまり自分から話しをされませんが、職員が声をかけるといつも素敵な笑顔で丁寧に答えて下さいます。時間があるとリハビリのため手をグーパーと運動されています。

また、ボールを使った遊びが好きと言われますので、機会を増やしていきたいと思えます。

食べ物好き嫌いなく、入れ歯がなくとも何でも食べられます。

これからも好きなものを一杯食べて元気でいて下さいね。

亡くなられた方々

・岡部豊子さん 92歳

平成16年10月29日、

永眠されました。

・佐野貴美子さん 83歳

平成16年11月19日、

永眠されました。

・服部秋尾さん 88歳

平成16年11月19日、

永眠されました。

・佛田ふみさん 98歳

平成16年11月22日、

永眠されました。

皆さんのご冥福をお祈りいたします。



「山中かくさん110歳の誕生日を祝う会」

12月11日(土)に「山中かくさん」がめでたく110歳の誕生日を迎えられました。

輪中の郷ではもちろん、愛知県一番のご長寿でもある「かくさん」をホームが一つになってお祝いします。今年には110歳の大会にのるとあって、「いつもとは一味もふた味も違った会にしよう。」と2か月以上前から話し合いを進めてきました。

当日は朝からお祝いムード。主役のかくさんは顔を合わす人たちから、「おめでとー！おめでとー！」と声をかけられていました。

紫色の服を着て、唇にはほんのり紅をのせ、とても110歳とは思えない元気なかくさんの登場です。いつも以上のニコニコ顔で中央の席に座り、会の始まりを今か今かと待っています。そんなかくさんの喜んだ顔が見たくて、皆が内緒で準備したお祝いの数々。

かくさんが隠れてしまいそうな豪華な110本のバラの花束。職員のメツセージ入りの洋服。手編みのひざ掛け。イチゴがのったケーキ。どれも

愛情たっぷりの贈り物です。そして皆からの歌や踊りのプレゼント。

素敵なハーモニーを聞かせてくれた厨房の皆さん。息のあった歌声を披露してくれた、しらかば・けやきほーむの皆さん。素敵なメイクでしなやかな踊りの健康管理室の皆さん。愛と地球、輪中の郷の平和を願うハッスルしてくれた事務所の皆さん。最初から最後までカッコよく決まった「かくさんサンバー」の短期ほーむくすのきの皆さん。素晴らしい舞を披露してくださった浅井前施設長と寿会の皆さん。そして少ない練習時間で見事一つにまとまった、いちよ

うほーむのソーラン節。どれもかくさんの心の中に深く刻まれたことと思います。

かくさんの方に支えられ、盛大にお祝いすることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

(佐藤江美)



▲浅井前施設長とその仲間の方々によるステージ



▲110本のバラの花束



▲イチゴがのったケーキ



▲健康管理室の職員による「おてもやん」



いちよほーむの職員と記念撮影▶

野球大会今年も

準優勝

去る8月から4日間にわたり、参加17チームで行われた第9回県民間老人福祉施設職員野球大会の準決勝、決勝が10月28日(木)に行われました。

準決勝はなんとか突破しましたが、決勝戦では力及ばず3年連続準優勝に終わりました。

▲準決勝(時間切れのため六回で終了)

シリウス	海部津島連合	
0	0	一
1	0	二
1	1	三
0	5	四
0	0	五
0	1	六
2	7	計



▲決勝

なのはな苑	海部津島連合	
0	0	一
0	0	二
0	0	三
2	0	四
0	1	五
1	0	六
×	0	七
3	1	計

来年の第10回大会は、より一層戦力アップして臨みたいと、決意を新たにしました。



ボウリング大会も

準優勝

11月27日(土)に第6回県民間老人福祉施設職員ボウリング大会が幸田セントラルボウルで開催されました。

輪中の郷からは2チーム参加で次の面々です。

◎チーム水小平

(水野勉、ダイ運転手、下村ます子、平野千代子各生活支援員助手)

◎チーム魔女つこメグちゃん
(柴田めぐ美、服部あかね、堀田恵子各生活支援員)

選手たちは夏祭りの時に作成した、すたっふ祭Tシャツを身につけ一丸となって奮戦し、ゲームは白熱しました。その結果団体戦では、「チーム水小平」が、個人戦では柴田めぐ美生活支援員がそれぞれ準優勝に輝きました。

あと一歩のところまで優勝に手の届くところだったので、選手たちは「来年は大会前に自主トレをしなければ」と早くも気合いを入れました。



▲個人戦準優勝の柴田めぐ美生活支援員



▲全員で記念撮影

永年勤続職員表彰

平成17年1月1日現在で10年以上勤続の次の2名に対し、社会福祉法人弥富福祉会永年勤続職員表彰規程に基づき、理事長から表彰状と記念品が贈呈され、これからも精進し法人事業の進展に寄与してもらいたいとの言葉がありました。

特別養護老人ホーム輪中の郷

共同生活課長 伊藤公一

(平成6年4月1日任用)

特別養護老人ホーム輪中の郷

調理助手 水谷たね子

(平成6年10月1日非常勤任用)



退職にあたって



木村 和加

この度、一身上の都合により12月31日をもって退職することになりました。

9か月という短い間でしたが、住人さんからいろいろと勉強させていただくことが多かったように思います。

また、先輩方から様々なことを教えていただき勉強になりました。

皆様、健康に気をつけて頑張ってください。

(いちようほーむ生活支援員)



いちようほーむ

『忘年会』

12月30日に忘年会を兼ねて鍋パーティーを行いました。当日

は朝から白菜をはじめ色々な野菜を切るのに職員4人がかり。

見ていた住人さんより、「すごい量だねえ。食べきれるかしら。」と声がかかります。「30人分の鍋

だからねえ。」と言いながら、山盛りの野菜が並び、いよいよスタートです。

野菜と白い魚の醤油ベースの鍋です。誰かがポツリと、「色が悪いな。味はいいけど……。」失

礼しました。実は係の私が、人参・春菊が大嫌いなもので……

でも春菊は入れましたよ。皆で鍋を囲み、お酒を飲みながらワイワイ。

ところが、1人の方が沈んでいます。理由を伺うと、「ワシは猫なもんで冷めるのを待ってる。」とのこと。あくよかったです。

鍋といえば、締めは雑炊と決まっています。ところが皆さん、

いくらすすめても、「もういらん。」と言われます。

しかし、半ば強引に茶碗に盛ると、「ほお、おいしいわあ。」とペロリと完食です。実は、雑炊を一番楽しんだのは職員でした。

一升瓶のお酒は、その後の正月三日までもちませんでした。飲兵衛のいちようほーむは、正月の乾杯酒の残りも全部頂くことができ、毎夜飲める方は晩酌を楽しんでおります。

(早瀬さくら)

鍋といえは、締めは雑炊と決まっています。ところが皆さん、

鍋といえは、締めは雑炊と決まっています。ところが皆さん、



しらかばほーむ

クリスマスパーティー

12月21日にクリスマスパーティーを開催しました。

しらかばほーむでは初の鍋。エビやカキ、タラ等の海鮮、野菜もたくさん入った特製海鮮鍋です。皆さんあつあつの鍋を囲み、お腹いっぱい食べられていました。いつもは魚介類を食べないある住人さんも、「こんな時に食べるといかなわ。」と言いながら、たくさん召し上がったようです。

最後に、ご飯を入れ雑炊にして汁までペロリと平らげました。



けやきほーむ

クリスマスパーティー

12月23日に、けやきほーむ全員でクリスマスパーティーを行いました。

朝から住人さんに手伝ってもらいながら鍋の準備です。鍋を食べる機会があまりないせいか、皆さん大変楽しみにされており、出来る前から今か今かと箸をもって、そわそわ・わくわく…。

やつのことでありつけた住人さんは、皆幸せそうに何杯もおかわりをして、お腹いっぱい食べてみました。

午後からは、各テーブルでデコレーションケーキ作りです。

それぞれ大変個性的で色鮮やかなケーキが出来上がりました。自分たちで作ったケーキは買ってきただけのものとは一味違っておいしかったです。

住人さんたちが、大変生き生きしていたのが印象的でした。

このような機会を増やし、住人さんに楽しんで頂きたいと思いました。

(端 文乃)



短期ほーむくすのき

「お千代保稲荷」に行ってきました

少々風の強い日でしたが、晴天に恵まれた1月7日の午後、「お千代保稲荷」に出掛けました。

まだ初詣に行っていない方、お千代保稲荷に行くのは初めてだという方もみえ、皆さんワクワク、ドキドキして現地に向かいました。

到着すると、さっそく拝殿前に行き、願い事を唱えました。「100歳まで生きられますように。」「今年も健康でいられますように。」等、皆さん真剣にお祈りしてみえました。

お祈りした後、参道にあるお店を見て回りました。餅つきをしているお店があったので、止まって眺めました。とても威勢よく、リズムカルに餅をついている姿を見て、「上手だねえ。」と感心したり、一緒に「ヨイショ。ヨイショ。」と掛け声を掛けている方もみえました。

いろいろなお店があり、たくさんのお物が売っていました。神社ならではの独特な雰囲気があり、そ

れらを眺めているだけでも、皆さんとても楽しそうでした。

帰りに買ったみたらし団子をみんな食べて、「おいしかった。またおちよぼさんに行きたいねえ。」という声がかかれたので、良い思い出になったのだと思います。

皆さんがお祈りした通り、健康で長生きできますよう、職員一同願っています。
(加藤久信)



ダイサービスセンター

輪中の郷

去る11月27日（土）介護者教室を開催しました。以前歯科衛生士の舟橋美千代先生を講師としてお迎えし、職員を対象に講演して頂いた「高齢者の口腔ケア」が大変好評でしたので、御家族の方にも聞いて頂くということで南デイスサービスセンターと合同で行ないました。

講演会の内容としては①摂食、嚥下のメカニズム②体験してみよう③お口の体操です。

②ではa)口の中の乾燥状態を作り（オブラートを口の中に貼る）食べにくさを体験、b)口の中の左側を麻痺させ（皮膚表面麻酔薬を口の中に含み麻痺させる）お菓子を食べてみてどんな状態になるかを体験しました。

③では食事の前にお口の体操を行うことにより、唾液がよく出て食べやすくなる。・口の周りの筋肉をほぐすことで咀嚼がしやすくなり、食物を細かく刻み、飲みこみをスムーズにさせる効果があります。是非やってみてはいかがでしょうか。

今回は、参加人数が7名と少なく残念でしたが、この様な貴重なお話を多くの方々に聞いて頂ければうれしいです。皆様の御協力をお願い致します。



弥富町

デイサービスセンター

平成17年1月7日、恒例となった初詣に、総合福祉センター前にある弥富神社へ午後より出掛けました。普段はゆったりとした様子の神様も、忙しいことだろうなあと思いながら・・・。

去年は、良いニュースも少なく、心が晴れない事が多々あり、今年こそは良い事が沢山ありますようにと、皆さんいつにもましてお参りする手のひらに、力がこもっていたように感じました。

弥富町デイサービスセンター職員一同、利用者皆様のご多幸、ご健康を心よりお祈り申し上げます。



弥富いごいの里

南デイサービスセンター

1月10日に十四山村のデイサービスセンターあい・ふれあいと風船バレー交流会を行いました。

相手は海部地区最強?と言われる程、強いチームです。我がチームも精銳を揃えて臨みましたが、いざ試合が始まると圧倒的にやられてしまいました。

さすがは最強のチーム?でしたね。試合を終えた後は、一緒にお茶とおやつを召し上がりお話しをされました。隣同士の町村ということもあり、昔の話をすると実は知り合いだったという方もいて、大いに盛り上がりました。

ある方は、一少し痩せたねえ。と言われ、大喜びで2、3日皆にその話をされていました。

なかなか他の施設と交流する機会はありませんが、これがよいきっかけになり、お友達が増えるといいですね。



あい・ふれあいの皆さん、ありがとうございました。

『お餅つき』

年末恒例の「お餅つき」が、鍋田農協パールの会の頼もしいご婦人方4名によるご奉仕で12月24日に、ひまわりの広場で行われました。

皆さん例年の楽しい行事を、今年も大変期待して待っていました。もち米はホカホカ蒸し上がり、大根おろし・きな粉・そして住人さんが大好きなあんこが次々とつきあがりました。

どのお餅もとってもおいしく、あつという間にお腹に収まりませんでした。

(津崎久美子)



『初詣』

平成17年1月1日、元旦恒例の初詣に平島神社(午前)と弥富神社(午後)へ出かけました。

前日の大晦日は雪が降り、一部積もった所がありましたので、お天気がとても心配でした。

しかし、朝はとても冷え込みましたが晴天に恵まれました。神社に到着し、皆さんそれぞれお賽銭を投げ入れ、願いをこめて手を合わせておられました。

その後は焚き火を囲みながら、地元住民の皆様から、おとそや甘酒を頂き身体を温めました。



今年は、どのような年になるのでしょうか？
住人の皆さん、利用者の皆さん、どうかお体を大切に、穏やかな年となりますように……。

(寶泉忠之)



ご寄付
ありがとうございます
ございました

10月分

・秦野助治様

・下里みどり様

11月分

・伊藤美恵子様

・寿会様

12月分

・小山 宏様

・(株)アイコー様

・海部民生委員連盟様

・鹿島建設(株)様

・篠田玲子様

・浅井正二様

・佐藤あき子様

・伊藤美恵子様

・おたま会様

・山田千代子様

・弥富ランドリー様

・費 幸恵様

編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

今年こそ良い年にしたい！と毎年のように祈り、願ひ、気がついてから年末・・・というような年が続いているみそちゃんです。

毎年末に財団法人日本漢字能力検定協会(本部・京都市。大久保昇理事長)が全国公募によつて1年の世相漢字を決定しています。

去年は「災」。ちなみに過去10年の漢字は、95年「震」、96年「食」、97年「倒」、98年「毒」、99年「末」、2000年「金」、01年「戦」、02年「帰」、03年「虎」(漢検ホームページより引用)でした。

こうして見ますと、あまり良いイメージの湧かない、陰のある漢字が多い気がしますね。

みそちゃん版去年の漢字を考えってみました。
「失」。「得」。「肥」。(解説はしませんっ！)

今年、「愛」とか「瘦」、「満」というような漢字を思い浮かべたい。

元旦の朝、雪化粧した美しい鈴鹿山脈を見てとても感動しました。あんな美しい風景が身近にある事に今まで気づかずいました。
みそちゃんの今年の出だしは「快」です。
(みそちゃん)